

子宮頸がんワクチンの必要性が、マスメディアを中心に訴えられています。しかし、世界ではすでに副作用などの被害を受けている人もいます。ワクチンの危険性はあまり報道されていません。安全性は疑問です。税金を  
使用した公費助成もよく考える必要があります。また、  
無料だからといって安易に接種することは危険です。

ワクチンは、**死亡例を含む多数の致命的な副作用**が報告されている。**不妊症を含む長期的なリスクは不明である。**

発がん性HPVに感染しても**90%以上は自然消滅する。**

限定的である。

ワクチンは**すべての発がん性HPVを予防するものではない**。とくに輸入ワクチンの効果は日本人には

性交渉を経験した女性に、**ワクチンは意味がない。**

ワクチンには、HPV感染を排除する効果はないので、

子宮頸がんの原因とされるヒトパピローウイルス(HPV)は、性交渉で感染する、とありふれたウイルスである。

**ワクチンを打つまえに考えよう！**  
まとも

**THINKER**  
QUESTION AUTHORITY

THINKER mini book シリーズ

1. ぼくらの知らない環境問題「ケムトレイル」
2. ぼくらの知らない薬害「子宮頸がんワクチン」
3. ぼくらの知らない社会「お金のしくみ」
4. ぼくらの知らない世界「戦争のしくみ」
5. ぼくらの知らない現実「人口を減らすってホント？」

大きな問題をまえに個人ができることは、ひとりでも多くの人に知ってもらうことです。「伝える」活動にご協力ください。そのツールとして、この mini book をご利用ください。

すべての考える人々へ  
<http://www.thinker-japan.com>

**死亡例も出てきているのに、ワクチンは推奨されている……**

**強制接種への動き** 世界では……

アメリカでは、ワクチン接種の義務化に動き出している。接種を受けていない児童は学校への登校や進級を禁止する法律を作り、実施している州もある。キリヤは国家政策で、児童へのワクチンを義務化。アメリカ、オーストラリア、韓国などでは、**9～15才までの男児**にまで、ワクチンが推奨されている。(女性に感染させる原因として)

**ワクチン推奨** 政府・自治体・マスコミによる

子宮頸がんワクチンへの公費助成を表明する自治体が、全国に広がっています。'09年12月、新潟県魚沼市、埼玉県志木市、兵庫県明石市では、小学6年生から中学3年生の女子を対象に全額補助することを決定。名古屋市では、半額補助することに。'10年5月には日本初、栃木県の小学生女子**10名に公費によるワクチン接種が開始**されました。(ワクチンは1回15,000円、3回接種で45,000円かかる)

ぼくらの知らない 薬害

**子宮頸がん ワクチン**

女性だけの問題ではない……  
本当に予防できる？  
副反応は？

THINKER mini book 2

**子宮頸がん** けい  
どんな病気？

女性にしかない臓器・子宮。その子宮の入り口部分にできるがんを「子宮頸がん」と言います。また、子宮体部にできるがんを「子宮体がん」(子宮がん)と言います。

もし、子宮頸がんになったら…

子宮や子宮のまわりを**摘出**する場合も **妊娠・出産** できないことも **がんが進行すると生命の危険も** ともこわい。予防できるならしたいよ！

でも、本当に**効果あるの？** **危険性は** ないの？

子宮頸がんワクチンの**必要性**がマスメディアで**叫ばれている**。

**ワクチン反対派の意見**

日本人の子宮頸がんの原因は、**H P V 16・18型が比較的多く**、H P V 16・18型は全体の**60%**にとどまる。H P V 16・18型予防に製造された輸入ワクチンでは、**予防効果が限定される**。

すべての発がん性HPVを予防できるわけではない！

ワクチンには、**水銀系保存料・チモソール**が含まれていて、**神経系の病気**(自閉症・キリンバレー症候群など)の**副作用の恐れ**がある。また、ボリオリベート80といった**不妊剤**が含まれている。

子宮を守るためのワクチンで“不妊”になる可能性も！

海外では、**100ヶ国以上**で使用されているワクチン。発がん性HPVのなかでも、とくに子宮頸がんの原因として報告されている**16型と18型**の感染をふせぐことができる。ワクチンに含まれるウイルスは、中身(遺伝子)がないので、ワクチンで感染することはない。

**ワクチン反対派の意見**

性交渉で感染する“ありふれたウイルス”に予防は必要？

以下で、通常**数年～十数年**かかると推測されている。発がん性HPVに感染しても**90%以上は自然消滅**する。子宮頸がんに進展するのは、**約0.1～0.15%**以下で、通常**数年～十数年**かかると推測されている。

子宮頸がんを予防するには**ときに命にも関わることだから両方の意見を聞いてから決めたい！**

**両方の意見を比べましょう！**

**両方の意見を比べましょう！**

子宮頸がんの原因は、ほぼ**100%ヒトパピローマウイルス**の感染。他のがんと異なり、原因がはっきりしているから予防できる。

※あくまで接種後のHPV予防に効果があるもので、すでに感染しているHPVを排除したり、がん細胞を治す効果はない。

海外では、**100ヶ国以上**で使用されているワクチン。発がん性HPVのなかでも、とくに子宮頸がんの原因として報告されている**16型と18型**の感染をふせぐことができる。ワクチンに含まれるウイルスは、中身(遺伝子)がないので、ワクチンで感染することはない。

けい  
**子宮頸がん ワクチン**の基礎 1・2・3

どんなワクチンなのだろう？

1. **そもそもワクチンってなに？**  
ワクチンとは… 弱めたウイルスやウイルスの死骸を注射することにより、体に抵抗力をつけ、病気を予防できるとされています。 ※製薬会社の主張です。
2. **子宮頸がんワクチンの中身ってなに？**  
子宮頸がんの原因とされる**ヒトパピローマウイルス(HPV)**の「殻」(抗原)が主成分です。
3. **ワクチンは何回接種するの？**  
3回接種することで、発がん性HPVの感染を数年間、防ぐことができるとされています。 ※製薬会社の主張です。

HPVとは？  
HPVは皮膚や粘膜に感染するウイルスで、**100種類以上**のタイプがあります。このうち、**約15種類**は子宮頸がんの原因となることが多いため、**発がん性HPV**と呼ばれています。発がん性HPVの多くは、性交渉の時に感染します。

HPV顕微鏡写真